

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行

# 会社説明会

2018年11月29日(木)



株式会社 鳥羽洋行

# 株主優待情報

## ● 株主優待は「クオ・カード」を採用しています



対象株主	単年度	継続保有3年以上
1,000株以上	3,000円	6,000円
100株以上1,000株未満	1,000円	2,000円

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

2018年11月12日付公表「株主優待の割当基準日変更に関するお知らせ」について

- ・2019年3月末日時点の株主様には従来通りの株主優待を実施いたします。
- ・2019年9月30日以降より基準日を変更し、毎年9月末日現在の株主様に株主優待を実施します。

# 当社の活動（イメージ）

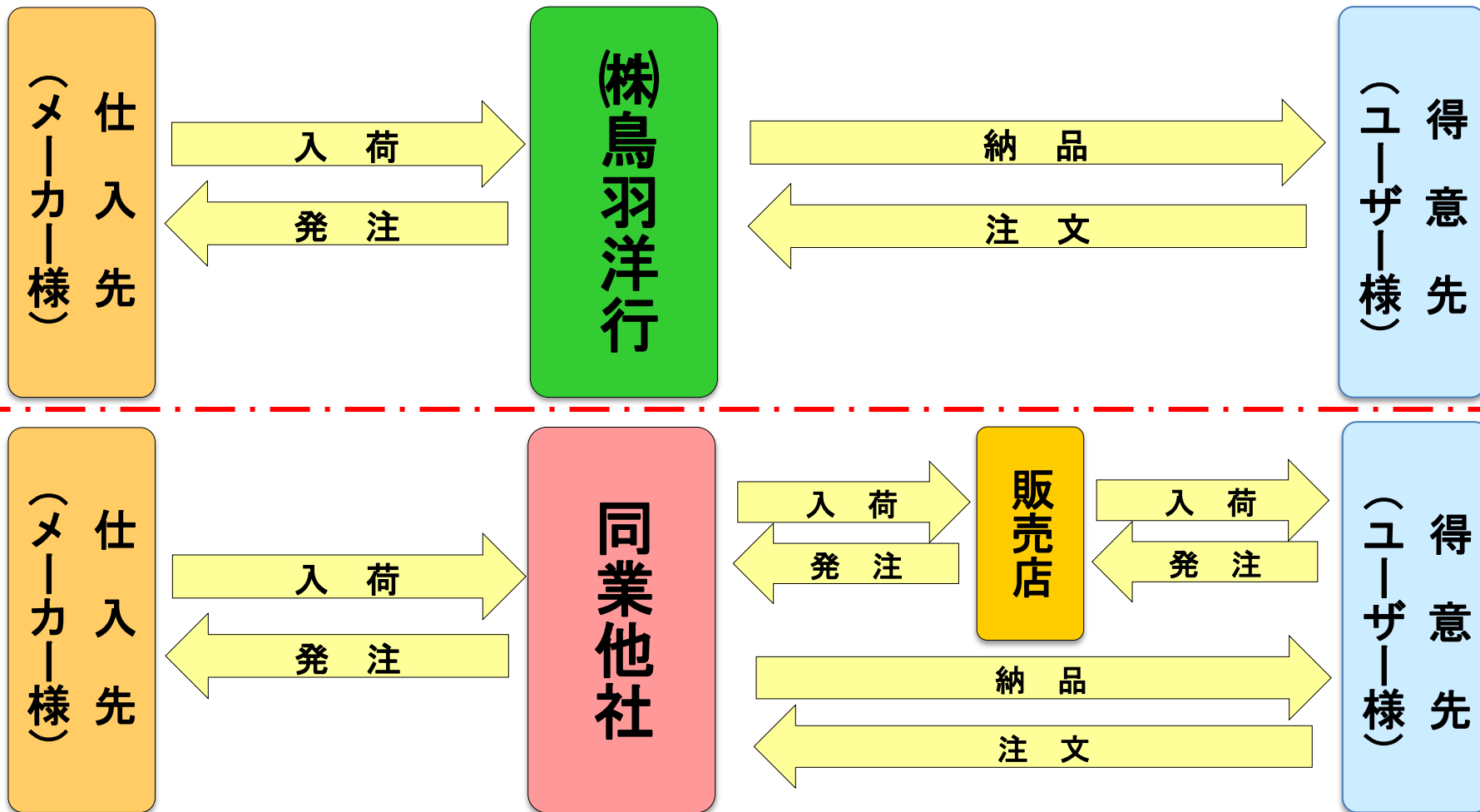


# 当社の活動（イメージ）



# ビジネススタイル

- ユーザー様は当社に依頼することで生産コストの低減と高品質化を実現
- 『直接仕入』 ⇒ 仕入先様から直接製品を購入
- 『直販体制』 ⇒ ユーザー様工場に直接訪問し販売



# 主な取扱商品例

## <取扱商品例>

制御機器



エアシリンダー



バルブ



センサー

FA機器



産業用ロボット



マウンター (実装機)



レーザー溶接機

産業機器



電動ドライバー



ベルトコンベア



電気チェーンブロック



# 会社概要

- 社 名：株式会社鳥羽洋行（TOBA,INC.）
- 本 社：東京都文京区水道二丁目8番6号
- 創 業：明治39年（1906年）
- 設 立：昭和24年（1949年）
- 資 本 金：11億4,800万円
- 従業員数：【連結】232人・【単体】204人
- 販売拠点：国内22拠点・海外3カ国5拠点
- 上場市場：東京証券取引所JASDAQスタンダード
- 証券コード：7472

※従業員数は、2018年3月31日現在です。

## 企業理念

# 信用第一主義

## 社是

- 1 当社は社会人類に貢献するためにある
- 2 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
- 3 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する
- 4 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
- 5 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく



# 沿革



創業者：鳥羽真作氏が、中国（大連市）にて、南満州鉄道を主たる取引先として創業

昭和30～40年代、  
空気圧機器を中心に販売展開  
“空圧のTOBA”



昭和40年代以降は、省力化・自動化  
機器FA機器）を中心に販売展開  
“FA プランナー TOBA”



⇒ 創業（1906年）から112年、設立（1949年）から69年、日本の産業発展とともに歩んできました。

明治39（1906）年  
創業



（旧銀座本社及び二代目社長：鳥羽実氏）

昭和24（1949）年設立  
中央区（銀座）にて

平成7（1995）年  
JASDAQに上場

平成10（1998）年  
文京区に本社移転

平成18（2006）年  
本社 新社屋完成

平成20（2008）年  
鳥羽（上海）貿易有限公司設立

平成24（2012）年  
TOBA（THAILAND）CO.,LTD.設立

平成26（2014）年  
TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所設立



（現在の鳥羽洋行本社）

# 当社グループの販売ネットワーク

## 海外3カ国5拠点

(同公司) 蘇州分公司

鳥羽(上海)貿易有限公司

(同公司) 深圳分公司

TOBA, INC. (ベトナム・ハノイ)

中国

ラオス

タイ

ベトナム

TOBA (THAILAND) CO., LTD.

## 国内22拠点

# 2019年3月期第2四半期業績①

## < 2019年3月期第2四半期 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

	18/3月期 第2四半期	19/3月期 第2四半期	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	13,921	14,370	3.2%	・半導体・電子部品関連及び自動車・車載部品向け増加 ・中国も前期に引き続きFA機器の需要が堅調
営 業 利 益	864	969	12.2%	
営 業 利 益 率	6.2%	6.7%	0.5P増	
経 常 利 益	920	1,028	11.7%	
経 常 利 益 率	6.6%	7.2%	0.6P増	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	632	709	12.1%	
四 半 期 純 利 益 率	4.5%	4.9%	0.4P増	

# 2019年3月期第2四半期業績②

## <2018年3月期第2四半期 連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	18/3月末	構成比	18/9月末	構成比	備 考
流動資産	20,808	80.6%	21,275	81.3%	
現金・預金	9,532	36.9%	9,969	38.1%	
受取手形・売掛金 ※1	11,056	42.8%	11,106	42.4%	・売上高増加による売上債権増加
商品	133	0.5%	128	0.5%	
固定資産	5,004	19.4%	4,895	18.7%	
資産合計	25,813	100.0%	26,170	100.0%	
流動負債	8,905	34.5%	9,156	35.0%	
支払手形・買掛金 ※2	8,070	31.3%	8,382	32.0%	・仕入高増加による仕入債務増加
固定負債	438	1.7%	410	1.6%	
負債合計	9,344	36.2%	9,567	36.6%	
純資産合計	16,469	63.8%	16,603	63.4%	
負債純資産合計	25,813	100.0%	26,170	100.0%	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

# 当社をとりまく市場環境

## <国内>

### ◆半導体・電子部品市場の動向

- ・IoT、クラウド化等の技術導入に伴い、半導体・電子部品の需要拡大が継続
- ・自動車のEV化、ADAS（先進運転支援システム）の導入などにより、電子部品の需要拡大が継続
- ・スマートフォン関連の設備投資は、市場の成熟化等でやや需要後退するものと予想

### ◆産業用ロボット需要の動向

- ・製造現場の自動化、省人化ニーズは高く、自動化機器の設備投資は旺盛である

### ◆商品の需給状況が逼迫

- ・一時期よりは改善は見られるものの、受注品の長納期化が継続している

## <海外>

### ◆米中間の貿易摩擦の動向が懸念材料

- ・本中間期への影響はほとんど見られなかったものの、今後の設備投資動向に関しては、少なからず影響を受ける可能性がある

### ◆中国での産業用ロボット需要の動向

- ・人件費高騰を背景とした自動化機器の需要は今後も継続していく模様

# 今後の戦略について

## ● 既存得意先への拡販と新規得意先の開拓

- ▶ 半導体製造装置、電子部品及び自動車・車載部品等に関連する得意先の設備投資需要の取り込み
- ▶ 食品工場など人手不足解消を課題としている得意先への、自動化・省力化機器の販売を積極的に展開

## ● PR活動強化

- ▶ 当社主催『複合展示会』
- ▶ 日本能率協会主催『第1回生産ロボット展』へ出展

## ● 新商品開発

- ▶ レーザー機器、ろ過機器（日本インテグリス）に匹敵する商品を発掘

## ● 海外拠点強化

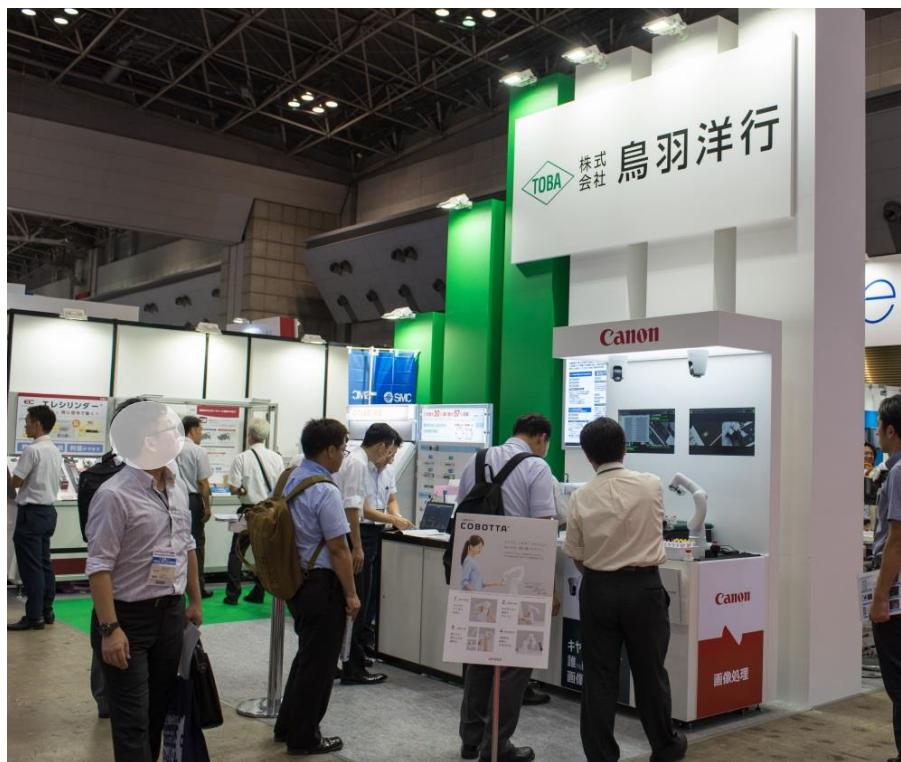
- ▶ 海外子会社との連携強化（情報共有し当社販売網の活用）



# 2019年3月期の活動（第1回生産ロボット展へ出展）

## <第1回生産ロボット展 概要>

- 開催日時：2018年7月18日（水）～7月20日（金）10時～17時
- 会場：東京ビッグサイト 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
- 主催：一般社団法人日本能率協会





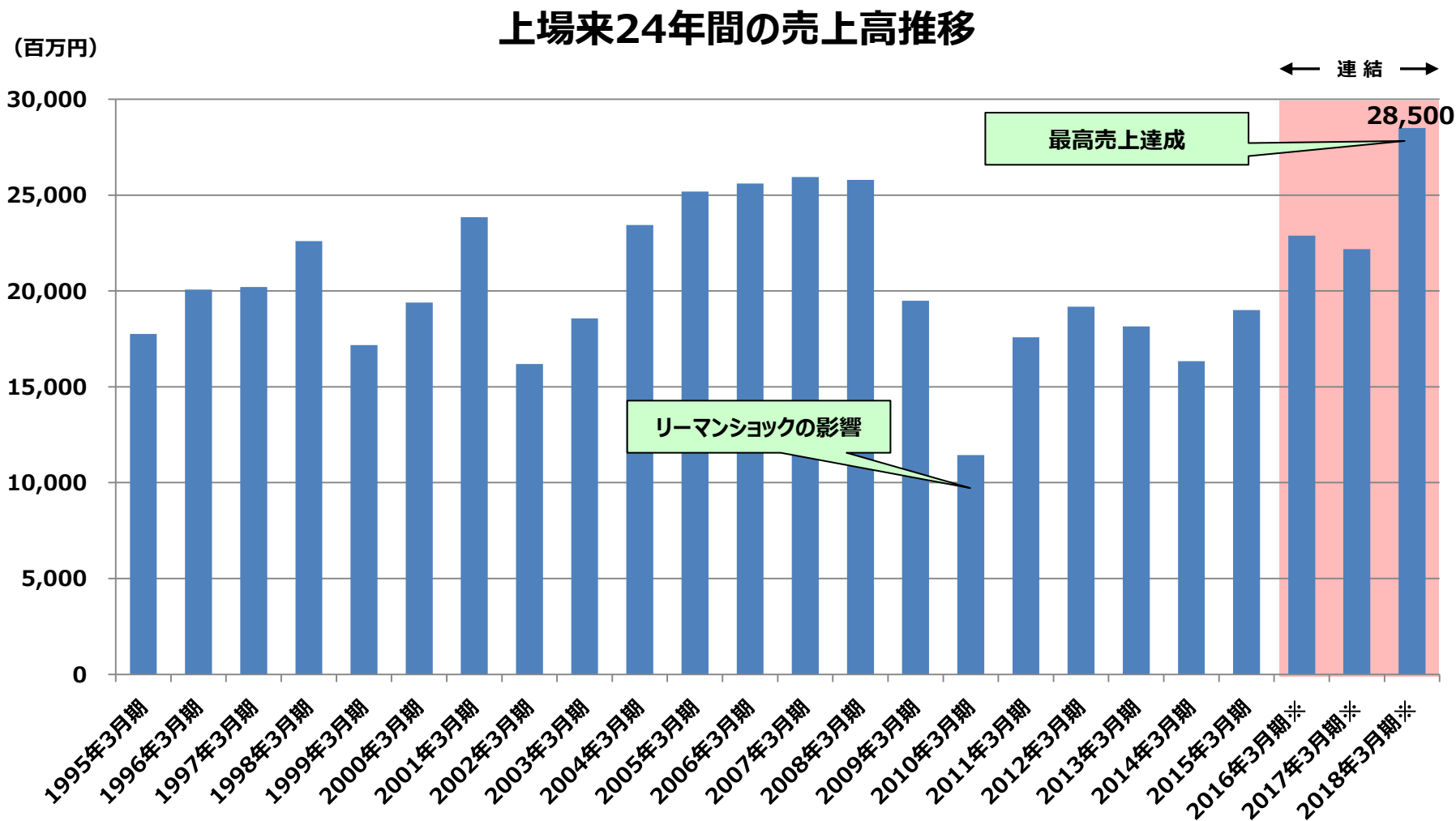
# 2019年3月期の業績予想（連結）

（単位：百万円）

	18/3月期	19/3月期	
		通期予想	第2Q実績
売上高	28,500	28,000	14,370
営業利益	1,774	1,740	969
営業利益率	6.2%	6.2%	6.7%
経常利益	1,873	1,850	1,028
経常利益率	6.6%	6.6%	7.2%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,276	1,250	709
当期(四半期)純利益率	4.5%	4.5%	4.9%

設備投資は2018年3月期と同様の需要があるものと予想

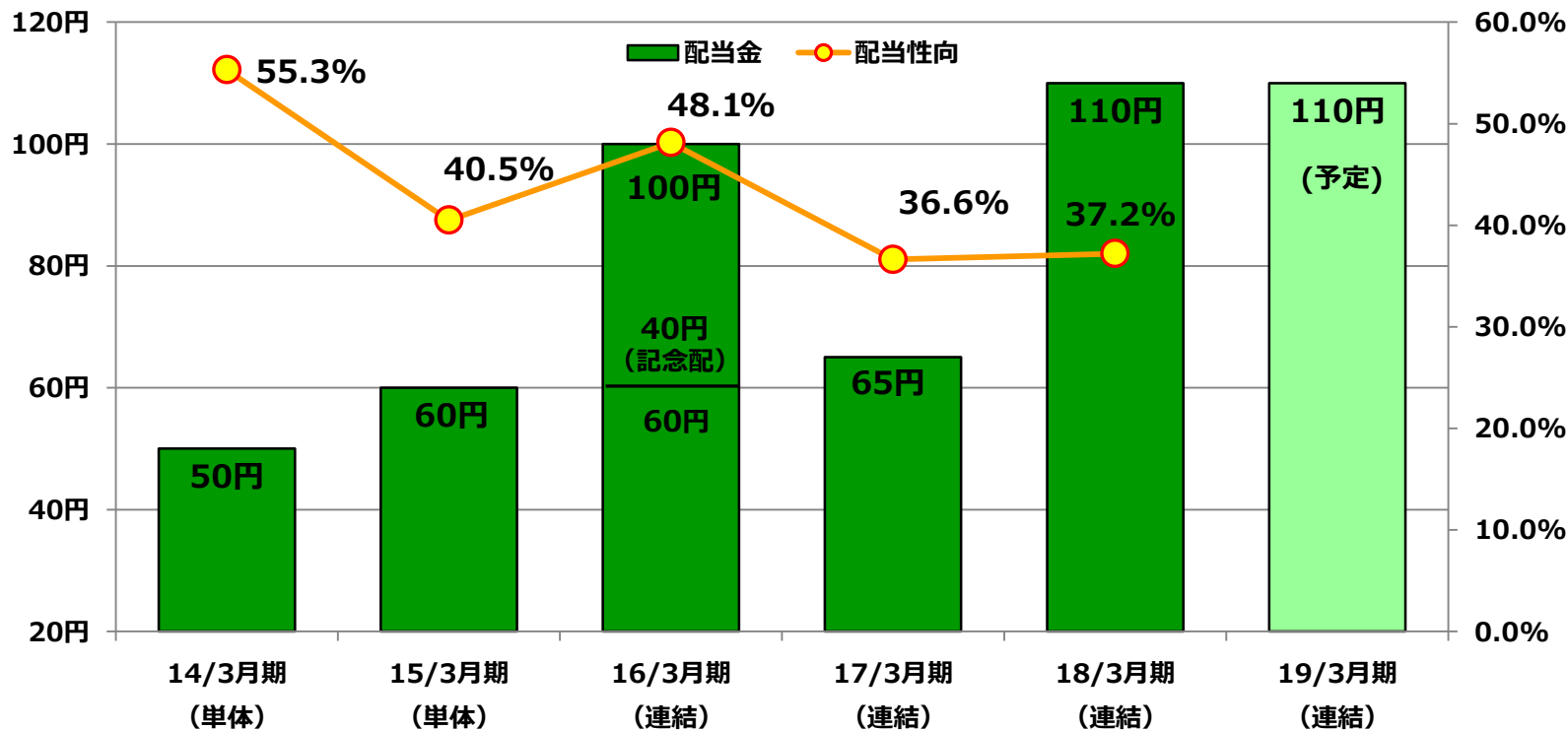
# 売上高推移グラフ（上場来24年間）



※2016年3月期から連結財務諸表を作成しているため、2015年3月期以前は単体の数値です。

# 株主様への還元

## 1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※16/3月期については、創業110周年記念の記念配当金40円が含まれております。

※配当性向については、16/3月期より連結での数字で計算しております。

- 株主還元方針
  - 1株当たりの配当金 **40円** を下限
  - 連結配当性向は **35%** 以上

- ◆ 積極的な株主還元  
配当方針、株主優待制度
- ◆ 得意先の設備投資  
2018年3月期と同様の需要
- ◆ 創業100年企業

この資料には、2018年11月20日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道 2 丁目 8 番 6 号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp